

平成18年度事業報告書(案)

事業報告書目次

I 概要

II 組織

- II-1 会則・規程等
- II-2 会員および会費
- II-3 役員・顧問・職員
- II-4 会議
- II-5 大学との関係
- II-6 ボランティアスタッフ
- II-7 管理業務(特記事項)

III 事業

- III-1 運営支援事業
- III-2 財政支援事業
- III-3 生活支援事業
- III-4 広報渉外事業
- III-5 サークル・サポート事業(天久保店)
- III-6 グッズ&メディア
- III-7 パーソナル・サポート事業(追越店)
- III-8 付随的収益事業

I 概要

年度末時点での平成18年度学群入学者父母等の入会率は57.9%、大学院入学者父母等の入会率は16.1%でありいずれも目標は達成できなかった。

各事業の決算では、会費収入においては、新入生父母等入会率が目標を達成できなかったことや賛助会費の減少などから合計54,886千円で予算比約11,462千円減となった。事業収入の売上収入においては、UTコレクションにおいて、学外や大学附属病院など新たな販路を拡大したことや、開発・管理の体制を整えたことにより売上は30,229千円となり目標額に近い金額となった。事業収入全体では約42,108千円で予算比8,362千円減となった。支出では、備品や消耗品の発注を控える、印刷製本費の圧縮などによりコスト削減を図ったが会費収入の減収を賄うほどには至らず、課外活動団体援助金は13,500千円(2,500千円減額)で支給することとなった。事業費支出全体では99,676千円で予算比11,889千円減となり、一般会計全体では、約753千円の赤字、正味財産増減計算書では4,082千円の減少となった。

大学との関係強化および紫峰会の法人化の必要性が議論され、学生生活担当副学長を主査とする筑波大学—紫峰会連携ワーキンググループが開催され、「筑波大学と紫峰会の関係を明確にし、連携を強化すること」および「紫峰会が信頼される契約主体になれること」の2点を目指して、検討がなされた。また、事務所、個人情報の相互提供、会報等の学内配布などの具体的課題についても検討がなされた。

II 組織

II-1 会則・規程等

特に無し。

II-2 会員および会費

会員種別	会員数	継続数	新規入会数	退会数	会費入金額 (単位:円)
正会員 1	7381	5510	1871	2040	54,015,000
正会員 2	187	125	62	28	436,653
賛助会員 (学内)	0	0	0	0	0
賛助会員 (一般)	103	56	47	17	134,000
賛助会員 (団体)	1	1	0	40	300,000

正会員 1 会員 (学生父母等)、学年別会員数内訳

学年	学群	大学院修士	大学院博士	合計
1 年	1454	127	219	1800
2 年	1520	124	255	1899
3 年	1529		84	1613
4 年	1529		125	1654
5 年	79		272	351
6 年	64			64
合計	6175	251	955	7381

II-3 役員・顧問・職員

役員 (任期:平成17年4月1日~平成18年3月31日)		
会 長	岡田 康治	学生父母等 (情報学類 4 / 芸サ連推薦)
副会長	田中 正造	筑波学都資金財団常務理事事務局長
	斉藤 浩一	同窓生 (文サ連初代運営委員長)
常務理事	大森 哲郎	同窓生・紫峰会事務主幹
理 事	染谷 朱美	学生父母等 (生物学類 3 / 文サ連推薦)
	高野 大二郎	筑波学都資金財団・学生宿舎管理事務所所長
	山崎 和茂	学生父母等 (情報 4 / 体育会本部)
	小林 千洋	同窓生 (体育会初代委員長)
	角海 紀雄	同窓生 (芸サ連第 3 期会長)
	児玉 恵利子	同窓生 (医療短大)
監 事	長谷川チヅ子	学生父母等 (工学基礎学類 3 / 体育会推薦)
	浅井 義夫	筑波学都資金財団・筑波研修センター所長
顧問		
(役職指定)	高橋 健夫	筑波大学副学長 (学生生活担当)
	守屋 正彦	筑波大学学生担当教員室長・学生生活支援室長
	谷口 祥一	筑波大学学生担当教員室員
	黒田 乃生	筑波大学学生担当教員室員
	石山 隆行	筑波大学学生生活課長
職員等		
I 種職員	大森 哲郎	事務主幹、週1日勤務
	北澤 徳之	週5日勤務
	久保 栄比幸	週5日勤務
	村上 公一	週5日勤務
II 種職員	齋藤 徳夫	経理担当、週4日×6時間勤務
	須藤 豊	広報・庶務・追越店担当、週3日×6時間勤務
パート職員	山口 秀峰	UTCollection・UTservice・追越店担当 週5日×8時間勤務
	吉岡 由紀	経理・総務・担当 週5日×8時間勤務
	長谷川英祐	追越店・UTCollection担当、週5日×6時間勤務
	久保田ひすい	天久保店担当、週4日×6時間勤務
	加藤 菜摘	追越店担当、週3日×6時間勤務
	小倉 久美子	天久保店・UTCollection担当、週3日×6時間勤務
アルバイト	(天久保)	週約60人・時間
	(追 越)	週約18人・時間

II-4 会議

総会			
	会則第14条に基づき、理事会をこれに代えた。 結果報告は紫峰会報紙面において行った。		
理事会			
第57回(2006.6.10)	1. 審議事項 (1) 第56回理事会の議事録録抄案承認の件 (2) 平成17年度事業報告書案承認の件 (3) 平成17年度収支決算書案承認の件 (4) 平成18年度紫峰会役員案承認の件 (5) 紫峰会の法人化に向けて (6) その他 2. 報告事項 (1) 平成18年度入会状況について (2) 個人情報共同利用の契約について (3) その他		
第58回(2007.2.11)	1. 審議事項 (1) 第57回理事会の議事録録抄案承認の件 (2) 平成19年度事業計画書案承認の件 (3) 平成19年度収支予算書案承認の件 (4) 平成19年度紫峰会役員案承認の件 (5) 平成18年度課外活動団体援助金系別配分額案承認の件 (6) その他 2. 報告事項 (1) 平成19年度入会状況について (2) 紫峰会-筑波大学連携ワーキンググループについて (3) その他		
学生財務会議			
構成員		平成18年4月～12月	平成19年1月～3月
	文化系サークル連合会財務局長	高井 一成	小嶋 梓
	芸術系サークル連合会財務局長	伊藤 藍	山田 悠貴
	体育会財務局長	尻無濱 芳崇	稲村 拓也
	体育会医学支部財務担当	関根 裕子	金子 宜樹
	全代会学内行事専門委員会	長瀬 和行	竹原 令依子
	担当職員	北澤 徳之	北澤 徳之
平成18年 第7回 2006.4.14-20:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第32回やどかり祭予算 ・ 第22回つくば芸術祭予算 ・ 第10回天上台風予算 ・ 2005年水泳部競泳強化合宿決算 ・ 男子ハンドボール部第17回世界学生選手権決算 ・ 第2回ソウル国際ダンスコンクール決算 		
第8回 2006.4.21-21:30～23:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第32回やどかり祭予算 ・ 第22回つくば芸術祭予算 ・ 第10回天上台風予算 ・ 平成18年度応援バスツアー予算 ・ 第30回スポーツ・デー予算 		
第9回 2006.4.26-16:45～17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学学類・専門学群代表者会議2006年度研修会予算 ・ 卓球部第12回国公立欧州遠征決算 ・ 団体援助金体育会団体一律金について 		
第10回 2006.5.12-20:00～21:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筑波大学-トロント大学バスケットボール国際交流大会予算 ・ 芸術系サークル連合会30周年記念冊子企画予算 		
第11回 2006.5.19-21:00～23:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスツアー予算 ・ 第32回宿舎祭予算 ・ スポーツ・デー予算 ・ 吹奏楽団創団30周年記念第55回定期演奏会予算 ・ 新入生歓迎祭取り下げについて 		
第12回 2006.6.2-21:00～ 23:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年課外活動団体リーダー研修会予算 ・ 創団30周年筑波大学吹奏楽団第55回定期演奏会予算 ・ ピアノ愛好会20周年コンサート予算 		

	<ul style="list-style-type: none"> 平成十八年春季バスツアー予算
第13回 2006. 6. 9-20:00~20:45	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ愛好会20周年コンサート予算
第14回 2006. 6. 16-20:00~20:25	<ul style="list-style-type: none"> 第10回天上大風決算
第15回 2006. 6. 23-21:00~23:00	<ul style="list-style-type: none"> 芸術系サークル連合会30周年記念企画予算 社会工学類30周年記念事業予算 第32回筑波大学学園祭「雙峰祭」
第16回 2006. 6. 30-21:00~22:15	<ul style="list-style-type: none"> 2005年水泳競泳強化合宿決算 第十八回男子世界学生選手権大会予算 第十六回世界大学卓球選手権大会予算
第17回 2006. 7. 4-20:00~24:30	<ul style="list-style-type: none"> 医学・全学アイスホッケー部創部30周年記念事業予算 劇団筑波小劇場東京南下公演予算 アメフト部2006年プリンストン大学サマーキャンプ予算 第30回スポーツ・デー春季決算 2006年吹奏楽団新潟演奏旅行決算 頭川昭子教授退職記念第43回筑波大学ダンス部公演「…だから踊る」決算 平成18年度応援バスツアー春季決算 第32回筑波大学学園祭「雙峰祭」予算
第18回 2006. 8. 30-20:00~22:00	<ul style="list-style-type: none"> 第30回スポーツ・デー秋季予算 芸術系サークル連合会30周年記念冊子予算 劇団筑波小劇場東京南下公演予算 2006年度全代会研修会決算 第32回筑波大学学園祭「雙峰祭」予算
第19回 2006. 9. 8-20:00~21:15	<ul style="list-style-type: none"> 第十六回世界大学卓球選手権大会決算 2006韓国・日本大学卓球交流戦予算決算 アメリカンフットボール部2006プリンストン大学サマーキャンプ決算 ライフセービング部第五回オーストラリア合宿決算 男子ハンドボール部第十八回世界学生選手権大会決算 陸上ホッケー部(男子)ソウル大学とのホッケー交流戦予算決算 第六回アジアマシンローイング大会予算決算
第20回 2006. 9. 15-20:00~23:00	<ul style="list-style-type: none"> 筑波大学・ソウル大学蹴球部交流戦2006予算 第十四回全国女子サッカーフェスティバル予算 第11回天上大風予算 管弦楽団第60回記念定期演奏会予算 第22回つくば芸術祭決算
第21回 2006. 9. 22-20:00~24:00	<ul style="list-style-type: none"> ダンス部第43回公演「…だから踊る」決算 ピアノ愛好会20周年記念コンサート決算 陸上ホッケー部ソウル大学とのホッケー交流戦決算 管弦楽団第60回定期演奏会決算 バドミントン部インターフロー決算 筑波大学医学ハンドボール部OBOG総会兼30周年記念事業決算 アメリカンフットボールバスツアー予算
第22回 2006. 10. 13-17:00~18:00	<ul style="list-style-type: none"> ダンス部第43回公演「…だから踊る」決算 財務会議の進行について
第23回 2006. 10. 20-18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> 第22回つくば芸術祭決算 筑波大学・ソウル大学蹴球部交流戦2006決算 筑波大学医学ハンドボール部OBOG総会兼30周年記念行事決算
第24回 2006. 10. 27-18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 芸術系サークル連合会30周年記念企画決算 第11回天上大風決算 筑波大学医学ハンドボール部OBOG総会兼創部30周年記念事業決算 吹奏楽団・創団30周年記念第55回定期演奏会決算 社会工学類30周年記念事業予算
第25回 2006. 11. 10-20:00~22:30	<ul style="list-style-type: none"> 劇団筑波小劇場東京南下公演決算 筑波大学・ソウル大学蹴球部交流戦2006決算 硬式野球部明治神宮野球大会応援バスツアー予算 査定基準について 用具等購入費について
第26回	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度課外活動団体リーダー研修会予算

2006. 11. 17-20:00～21:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇団筑波小劇場東京南下公演決算 ・ 援助金査定基準について ・ 財務会議運営について
第27回 2006. 11. 24-19:00～20:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカンフットボール部秋季応援バスツアー決算 ・ ソウル大学蹴球部交流試合2006決算 ・ カヌークラブ・フラットウォーターレーシング2006ワールドカップ第3戦決算 ・ 卓球部・ポーランドオープン予算
第28回 2006. 12. 15-20:30～21:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカンフットボール部秋季応援バスツアー決算 ・ 第30回スポーツ・デー年間予算 ・ 第32回雙峰祭決算 ・ 援助対象経費基準について ・ 財務会議運営の企画案 ・ 平成18年度課外活動団体援助金について
第29回 2006. 12. 22-20:00～24:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガントチャートによる進行票について ・ 平成18年度課外活動団体援助金について
第30回 2007. 1. 12-18:00～21:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支計算書の援助金経費基準に関する申し合わせについて ・ 第32回雙峰祭決算 ・ 平成18年度課外活動団体援助金配分について
平成19年 第1回 2007. 1. 19-15:00～18:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支計算書の援助対象経費基準に関する申し合わせについて ・ 筑波大学管弦楽団第60回記念定期演奏会決算 ・ 第32回筑波大学学園祭・雙峰祭決算 ・ 第32回筑波大学宿舎祭決算 ・ 社会工学類30周年記念事業予算 ・ 医学支部の認定推薦審査基準について
第2回 2007. 1. 26-20:10～22:50	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水泳部競泳強化合宿予算 ・ フォルクローレ愛好会・フォルクローレ南第20回合同コンサート予算 ・ 新財務局長の研修について
第3回 2007. 2. 2-21:10～22:40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第30回スポーツデー決算 ・ 新財務局長の研修について ・ 学園祭の援助金申請書について ・ 各系の援助金申請書について
第4回 2007. 2. 9-20:10～23:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第30回スポーツ・デー決算 ・ 平成18年度課外活動団体リーダー研修会決算 ・ 第32回筑波大学宿舎祭決算 ・ 社会工学類30周年記念事業決算
第5回 2007. 2. 16-20:30～23:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際卓球連盟プロツアーポーランドオープン大会決算 ・ 国際卓球連盟プロツアーインドオープン大会予算 ・ 筑波大学宇宙工学研究会30周年記念イベント予算 ・ 第14回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル決算 ・ 宿舎祭の窓口について
第6回 2007. 2. 23-20:15～21:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2007年度新入生歓迎祭予算 ・ 第14回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル決算 ・ 宿舎祭の窓口について
第7回 2007. 3. 9-20:10～23:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卓球部サイフィールオープン国際大会予算 ・ 筑波大学ラグビー部創立80周年記念事業海外遠征予算 ・ 2007年筑波大学水泳部水球部門セルビア遠征予算 ・ 2007年度新入生歓迎祭予算 ・ 第23回つくば芸術祭予算 ・ 春季応援バスツアー予算 ・ 新潟演奏旅行予算 ・ 芸サ連の領収証宛名についての細則について ・ 宿舎祭の窓口について
第8回 2007. 3. 30-20:10～21:40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第12回天上大風予算 ・ 第31回スポーツ・デー予算 ・ 宿舎祭の窓口組織について

II-5 大学との関係

顧問連絡会	
構成員	顧問 高橋 健夫 [筑波大学副学長(学生生活担当)] 顧問 守屋 正彦 [筑波大学学生生活支援室長・筑波大学学生担当教員室長] 顧問 谷口 祥一 [筑波大学学生担当教員室員] 顧問 黒田 乃生 [筑波大学学生担当教員室員] 顧問 石山 隆行 [筑波大学学生生活課長] 副会長 斉藤 浩一 [同窓生・文サ連初代運営委員長] 常務理事 大森 哲郎 [同窓生・紫峰会事務主幹] 理事 高野 大二郎 [筑波学都資金財団学生宿舎管理事務所長] 職員 北澤 徳之 職員 久保 栄比幸 職員 村上 公一
第20回(2006.6.2)	審議事項 (1)第19回顧問連絡会の議事録について (2)平成17年度事業報告書(案)について (3)平成17年度収支決算書(案)について (4)平成18年度紫峰会役員について (5)法人化に向けて (6)第57回紫峰会理事会について 報告事項 (1)平成18年度入会状況について (2)個人情報の共同利用の契約について
第21回(2007.1.30)	審議事項 (1)第20回顧問連絡会の議事録について (2)平成19年度事業計画書(案)について (3)平成19年度収支予算書(案)について (4)平成19年度紫峰会役員について (5)平成18年度課外活動団体援助金系別配分額案について (6)第58回紫峰会理事会について 報告事項 (1)平成18年度入会状況について (2)筑波大学-紫峰会連携ワーキンググループについて
顧問意見確認事項	
各種援助金の支給	援助金申請書にて、顧問を代表し学生担当教員室の意見(確認印)
各種貸付金の貸付け	貸付金申請書にて、顧問を代表し学生担当教員室の意見(確認印)
大学機関主催行事等への役員等の参加	
スポーツ・デー 宿舎祭 学園祭・雙峰祭 リーダー研修会 全代会研修会	開会式、援助金目録贈呈(会長:岡田康治) オープニング参加・目録贈呈(理事:小林千洋) 後夜祭ステージ、援助金目録贈呈(理事:角海紀雄) 研修参加、援助金目録贈呈(担当職員) 研修参加、援助金目録贈呈(常務理事:大森哲郎)
学生広報会議	
構成員	平成18年4月～12月 文化系サークル連合会 局長:西本 舞子 井上 正登 局員:古田島知則 江口 真規 芸術系サークル連合会 局長:尾池 響平 小川 真 局員:太田 優未 長野 真美 体育会 局長:杉山 敦子 染谷 健太 局員:中村有紀子 染谷 陽介 体育会医学支部 局長:小玉 聡 関野 雄太 平成18年4月～平成19年3月 全代会学内行事専門委員会 :金澤 ひかり 全代会広報委員会委員 :比嘉 慎吾 担当職員 久保栄比幸・須藤 豊
(毎週1回程度)	・「紫峰会報」の編集・取材等打ち合わせ ・研修(カメラ操作方法・撮影・編集など) ・紫峰会報発送作業段取り ・「紫峰会ホームページ」への情報提供 ・各系広報誌収集・情報交換 など

II-6 ボランティアスタッフ

課外活動資料室白書編集部		
構成員	古畑 俊一郎（白書編集長・文サ連幹事・工学システム学類4年） 荒益 光大（自然学類4年） 山本 純（社会工学類4年） 久保 栄比幸（元厚生会学生委員会委員長・担当職員） 村上 公一（担当職員）	
（毎週1回程度）	・課外活動資料・情報の収集・整理 ・課外活動白書の編集	
課外活動資料室広報部会		
構成員	村田 直史（文サ連副委員長・図書館情報専門学群4年） 山崎 雅和（体育会幹事・情報学類4年） 久保 栄比幸（担当職員）	
（毎週1回程度）	・学生広報会議の議題の整理 ・紫峰会報の編集・取材 ・紫峰会報編集作業のための「広報マニュアル」を作成	
課外活動資料室財務部会		
構成員	荒益 光大（自然学類4年） 片山 裕士（工学システム学類3年） 北沢 徳之（担当職員）	
（毎週1回程度）	・学生財務会議の議題の整理 ・会計面接およびその準備 ・会計マニュアルの編集	
UTコレクション企画室		
構成員	五十嵐治也（室長・元筑波大学副学長） 三田村峻右（元芸術学系教授） 穂積 毅重（芸術学系教授） 蓮見 孝（芸術学系教授） 齋藤さだむ（元筑波大学技官・写真家） 山口 秀峰（筑波大学芸術専門学群卒・担当職員） 北澤 徳之（担当職員） 長谷川英祐（筑波大学芸術専門学群卒・担当職員）	
	平成18年度は開催せず。	
UT Club		
構成員	生野 利典（自然学類4年） 牧口 早希子（芸術専門学群4年） 木村 俊介（工学基礎学類3年） 松尾 智子（比較文化学類3年） 谷口 僚（生物資源学類3年） 泉聡一（図書館情報専門学群） 大久保圭祐（芸術専門学群2年） 江藤 茜（比較文化学類2年） 藤本 謹也（社会学類1年） 山口 秀峰（担当職員）	永山 智美（芸術専門学群4年） 上坂 元紀（比較文化学類4年） 佐々木 悠（自然学類3年） 古川 美歌（生物資源学類3年） 岩田 美穂（社会学類3年） 根本 卓（図書館情報専門学群） 石神 健太（自然学類2年） 中村衣里（人間学類1年） 長谷川英祐（担当職員）
ミーティング： 毎週火（部門長、UTcollection開発チーム） 毎週金（UTserviceチーム） 共同作業日： 毎週金	・UTcollection商品開発に関する検討 ・UTserviceデザイン及び制作進行に関する検討 ・学園祭企画について ・総合カタログの企画及び制作 ・通信販売チラシの制作 ・新規アイテムの企画及びデザイン ・資料整理、作業等	
業者見学等	平成18年度は行わず	

販売促進	通信販売チラシ作成 (4・7・12・1・2月) 総合カタログ作成 (9月) 入学式販売 (2006.4.7) 大学説明会特設販売 (2006.7.27~29) 東西インカレ2006特設販売 (2006.8.18~8.20) 学園祭ショップ「UTshop」出店 (2006.10.7~9) 卒業式特設販売 (2007.3.23) 学内外におけるプロモーション・展示販売箇所ディスプレイに関する検討
Net-Project	
構成員	周 昕 (システム情報工学研究科1年) 三浦 賢一 (数理物質科学研究科1年) 馬場 隆 (比較文化学類4年) 森 大地 (比較文化学類2年) 矢作 千春 (医科学研究科1年) 近藤 貢二 (自然学類卒業生) 久保 栄比幸 (職員・社会学類卒業生) 村上 公一 (担当職員・基礎工学類、理工学研究科卒業生)
ミーティング 週1~2回	・紫峰会ホームページの作成・更新 ・インターネットサーバーの保守・管理 ・メーリングリストの運用 ・茗溪会ホームページの更新作業

II-7 管理業務(特記事項)

紫峰会—筑波大学連携ワーキンググループ 「筑波大学と紫峰会の関係を明確にし連携を強化すること」および「紫峰会が信頼される契約主体になれること」の2点を目指して、平成18年12月までに基本事項を確認し、平成19年7月をめどに紫峰会の法人化を行い、その法的位置付けを明らかにするために、紫峰会—筑波大学連携ワーキンググループを開催された。																																				
構成員	<table border="0"> <tr> <td>主査</td> <td>学生生活担当副学長</td> <td>高橋 健夫</td> </tr> <tr> <td>副主査</td> <td>紫峰会常務理事</td> <td>大森 哲郎</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">常任メンバー</td> <td>学生担当教員室長</td> <td>守屋 正彦</td> </tr> <tr> <td>学生担当教員室副室長</td> <td>三末 和男</td> </tr> <tr> <td>学生担当教員室室員</td> <td>谷口 祥一</td> </tr> <tr> <td>学生生活課長</td> <td>石山 隆行</td> </tr> <tr> <td>学生生活課課長補佐</td> <td>菊池 今朝貴</td> </tr> <tr> <td>学生生活課専門職員</td> <td>土子 昇</td> </tr> <tr> <td>監査室長</td> <td>秋野 哲也</td> </tr> <tr> <td>紫峰会職員</td> <td>北沢 徳之</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">各回出席</td> <td>総務・企画担当副学長</td> <td>吉武 博通</td> </tr> <tr> <td>財務企画課長</td> <td>坂本 淳一</td> </tr> <tr> <td>総務課長</td> <td>岡田 実</td> </tr> <tr> <td>広報課長</td> <td>飯村 茂</td> </tr> <tr> <td>オブザーバー</td> <td>紫峰会会長</td> <td>岡田 康治</td> </tr> </table>	主査	学生生活担当副学長	高橋 健夫	副主査	紫峰会常務理事	大森 哲郎	常任メンバー	学生担当教員室長	守屋 正彦	学生担当教員室副室長	三末 和男	学生担当教員室室員	谷口 祥一	学生生活課長	石山 隆行	学生生活課課長補佐	菊池 今朝貴	学生生活課専門職員	土子 昇	監査室長	秋野 哲也	紫峰会職員	北沢 徳之	各回出席	総務・企画担当副学長	吉武 博通	財務企画課長	坂本 淳一	総務課長	岡田 実	広報課長	飯村 茂	オブザーバー	紫峰会会長	岡田 康治
主査	学生生活担当副学長	高橋 健夫																																		
副主査	紫峰会常務理事	大森 哲郎																																		
常任メンバー	学生担当教員室長	守屋 正彦																																		
	学生担当教員室副室長	三末 和男																																		
	学生担当教員室室員	谷口 祥一																																		
	学生生活課長	石山 隆行																																		
	学生生活課課長補佐	菊池 今朝貴																																		
	学生生活課専門職員	土子 昇																																		
	監査室長	秋野 哲也																																		
	紫峰会職員	北沢 徳之																																		
	各回出席	総務・企画担当副学長	吉武 博通																																	
		財務企画課長	坂本 淳一																																	
総務課長		岡田 実																																		
広報課長		飯村 茂																																		
オブザーバー	紫峰会会長	岡田 康治																																		
第1回 (2006.8.10)	(1)設置の趣旨の確認 (2)主な検討事項の確認 (3)作業課題の確認 (4)これまでの経緯について (5)今後の進め方																																			
第2回 (2006.8.29)	学生サービスおよび保護者や卒業生等に対するサービスの全体像を描く。 (1)大学が実施している学生サービスについての説明及び質疑応答 (2)紫峰会実施している学生サービスについての説明及び質疑応答 (3)ブレインストーミング (父母・卒業生・学生・関係課長らが参加)																																			
第3回 (2006.11.9)	(1)新法人の設立 (2)新法人の当面の事業 (3)収益力増強の方策 (4)大学との関係																																			
第4回 (2006.12.26)	(1)紫峰会の分割と新法人の設立について (2)新法人の当面の事業について (3)収益力増進の方法について (4)大学との関係について																																			

第5回 (2007. 1. 23)	理事会および顧問連絡会への報告について内容整理された。 (1) 個別案件の進捗状況 (2) 設置形態について (3) 共有すべき理念について
第6回 (2007. 5. 15)	(1) 大学からの報告 (2) 連携のあり方について (3) その他

他大学後援会・学生後援会調査 (説明資料 38～41)	
2006. 7. 10-11	会の今後の事業展開などを考えるために、他大学の後援会や学生後援会の活動状況を調査した。主には他大学後援会のウェブサイトの閲覧が中心だが、職員が私用で福岡を訪れた際、九州大学後援会、同学生後援会を訪問し、活動状況などの聞き取りを行った。

個人情報の取り扱いについて	
	会員および学生からお預かりした個人データの安全管理のために、安全管理措置を講じた。当会において個人情報を取り扱う従事者は、法令および内部規程を遵守し、個人情報を適切に管理した。 監査責任者を選任し、個人データの安全管理措置の評価、見直しおよび改善を行った。 個人情報保護管理者のもと、内部規程の整備、運用および従業者の教育を行なった。 実施内容：個人情報保護法について、事例紹介、紫峰会の業務にて使用される個人情報、個人情報の定義等

III 事業

III-1 運営支援事業

(説明資料 P 20~21)

課外活動等の関連情報を提供し、学生の団体・組織の運営の安定・充実を促すため、学生の団体・組織を対象とし、会計面接、運営相談、課外活動に関する情報収集を行った。

a 会計面接を含む団体の会計相談の実施

- ①会計面接は、課外活動団体全団体を対象に年一回、紫峰会天久保事務所において、以下の目的で行っている。(団体側参加者：責任者・会計、当会側：担当職員・担当財務局長)
- ・団体への援助金が団体の会計に入金されていることを確認する。
 - ・団体援助金の支給が適切であったのか、支給された援助金の活用状況を確認する。
 - ・各団体の会計処理が円滑に行われているかを確認し、併せて各団体の活動状況も把握する。

実施時期などは以下の通り。なお、各団体の会計状況・帳簿状況等はおおむね良好であった。

	実施団体数(会計数)	実施時期
体育会本部	58団体(64会計)	7・8月(夏休み中)
体育会医学支部	1団体(20会計)	2・3月(春休み中)
文サ連	46団体(52会計)	3月(春休み中)
芸サ連	27団体	11月(秋休み)

- ②日常的に会計相談や援助金申請の相談窓口を設置してほしいとの要望から、会計クリニック(毎週月曜日の18時~19時30分・予約制)を実施した。のべ約40団体の利用があった。(会計面接の再接触を含む)

b 課外活動資料室による課外活動関連情報の収集・整理・蓄積および閲覧等の対応

- ①課外活動資料室に世話人を置き、資料・情報の収集・整理・蓄積を行った。
- ②2004年度、2005年度課外活動白書の編集に必要な情報収集ならびに編集作業を行った。
- ③財務会議の補佐を行う同資料室財務部会、広報会議の補佐を行う同広報部会と世話人会との連携を強化するため、課外活動資料室を白書編集部、財務部会、広報部会に再編、それぞれの代表者と担当職員が定期的に情報交換を行う連絡会が設置された。
- ④三系財務局長・課外活動資料室の協力により、課外活動団体会計マニュアルを作成し、各団体の会計担当者に配布した。

III-2 財政支援事業

(説明資料 P 22~28)

学生の諸活動を推進・育成する団体・組織・機関や学生個人の財政を補助し、課外活動や学生生活の発展・充実を促すことを目的として、各種助成金の給付、一時資金の貸付などを行った。

a 課外活動団体への援助金(一般援助金、遠征援助金)の給付

- ①文サ連、芸サ連、体育会の各所属団体より報告のあった収入支出を団体別系別に集計した一覧を元に系別配分額案を作成、決算状況決定した(第58回理事会にて事務局一任)。なお、援助対象経費の抽出および集計表の作成は各系の財務局で実施している。
- ②平成18年度課外活動団体援助金系別配分額に基づき、各団体への配分額を各系責任者会議で決定された。平成19年6月紫峰会から各団体に給付する。(団体配分額については別紙参照)

平成18年度系別配分額	援助対象経費集計期間	一般援助金	遠征援助金	計
文サ連	平成17年10月~18年9月	632,290	549,836	1,182,126
芸サ連	平成17年10月~18年9月	836,106	1,429,044	2,265,150
体育会	平成17年10月~18年9月	2,431,604	7,621,120	10,052,724
合計		3,900,000	9,600,000	13,500,000

b 特別援助金の給付

国際社会・地域社会に広く開かれた大学という開学の理念にのっとり、国際交流・地域交流・社会貢献活動を促進することを目的とし、筑波大学の課外活動団体及び学生団体、またはこれに所属する学生個人の当該団体本来の活動であり、経費負担者（他の援助者を含む）の負担能力を上回るもの、筑波大学の名誉を高めその学生への援助効果の大きいものに対して支給される。支給基準は次の通りとなっている。

①海外遠征

海外遠征S＝オリンピック・世界選手権クラスの大会に日本代表として出場した場合。

援助率は自己負担金の**25%以下**。

海外遠征A＝アジア大会・ユニバシアードクラスの大会に日本代表として出場した場合。

援助率は自己負担金の**20%以下**。

海外遠征B＝一定の選抜課程を経て日本代表として国際大会に出場した場合。

援助率は自己負担金の**15%以下**。

海外遠征C＝自主的に海外遠征した場合。

援助率は自己負担金の**5～10%程度**。

②後援事業

主に地域交流行事やその他大規模事業のこと。援助率は自己負担金の**5～10%程度**または総経費の3～8%程度。ただし、一般援助金の援助率を下回ることはない。

③記念行事

団体のn周年記念式典や記念公演などのイベントが対象となる。援助率は総経費の**3～10%程度**。但し、大規模事業を含む場合は後援事業に準ずる。

④社会貢献事業

社会福祉活動や地域に根ざしたボランティア活動などのイベントが対象となる。チェックリストをもとに社会貢献事業として取り扱うかどうかや援助率を決定する。援助率は自己負担金の**5～30%程度**。

⑤特別援助金支給状況は別紙の通り

c 課外教育行事への援助金（学園祭援助金、スポーツ・デー援助金、諸行事援助金）の給付

学生の組織等が主催する行事に対して援助金を支給した。

申請は、原則として所属する組織の承認・推薦を得た上で、援助金申請書・予算書・事業計画書・決算書・事業報告書・領収書・その他資料などを学生財務会議に提出し、金額を決定した。また支給したイベントにおいて、役員から学生の代表に目録の贈呈を行った。支給状況は別紙の通り。

d 一時資金の貸付（緊急貸付金、団体貸付金、課外貸付金）

貸付金規程に基づき貸し付けを行った。

緊急貸付金：在学生（生活資金等） 無利子 1年以内 25万円まで

課外貸付金：課外活動団体で活動する個人 無利子 1年以内 20万円まで

団体貸付金：課外活動団体（会計） 無利子 4年以内 60万円まで

平成18年度の貸付状況は以下の通り。

	緊急貸付金		課外貸付金		団体貸付金		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
前年度から繰越	18	3,305,200	2	250,000	3	150,000	23	3,705,200
本年度新規貸付	15	3,360,000	2	320,000	2	465,000	19	4,145,000
本年度返還者 ()内は完了者	17 (15)	3,450,000	4 (3)	475,000	4 (3)	290,000	25 (21)	4,215,000
年度末貸付残高		3,215,200		80,000		325,000		3,620,200

e 組織助成金の給付（三系公用コピー代を含む）

学生組織（文サ連・芸サ連・体育会・全代会）執行部が、公用で紫峰会事務所のコピー・印刷等を天久保・追越の両店舗で行う場合、助成の一環として無償で利用できる。これは、各系主催行事（スポーツ・デー等）の場合にも適用されている。この枠から全代会構成員の名刺制作なども行われた。

f 大学の課外活動の育成指導に関する経費の補助

大学の行う行事等で、学生後援会としてふさわしいものについて、大学の支出要請に応じて補助を行った。

学生部学生生活課（春季スポーツ・デー）

学生部学生生活課（秋季スポーツ・デー）

学生部学生生活課（学生死亡時に香典代を支給）

体育専門学群長表彰の副賞（UTCアイテムより現物支給）

学生担当教員室（フォトコンテスト）

g 海外遠征等の際のUTコレクション・アイテムの支給

課外活動団体が海外遠征等を行う場合、相手先との交換などのための記念品を三系執行部の推薦を経て現物支給している。支給基準は以下の通り。

参加人数

20名以内 20,000円まで

21名～40名 40,000円まで

41名以上 60,000円まで

平成18年度中に支給した団体（金額換算）は以下の通り。

女子アイスホッケー部 19,800

男子バスケットボール部 39,600

ラグビー部 39,900

III-3 生活支援事業

学生等の相談を受け、必要な情報を提供し、就職活動や学生生活の充実を促し、生活相談、生活関連情報（アルバイト、アパート、就職活動など）の収集・提供を行った。

a 生活情報サービスの実施

紫峰会報別冊を作成し自動車保険や自動車所有・使用に関する情報提供を行った。

b 貸付金面接時生活相談および会員からの電話等による学生生活関連の相談への対応

○学生の生活相談の主な内容は以下の通り

- ・緊急貸付金について
- ・出納管理の方法について
- ・年間の資金繰りについて
- ・アルバイト先について
- ・自動車の維持について

○会員からの電話・E-Mail等による学生生活関連の主な相談内容は以下の通り。

- ・学生と連絡を取りたい（電話をかけても出ないなど）がどうしたらよいか。
- ・子供が新興宗教系らしき団体の合宿に参加しようとしているがどうしたらよいか。
- ・子供からアルバイト先での賠償責任の連帯保証署名を求められたが、連絡先も書いてないので団体かもわからず不安だ。→会社名を聞き、その連絡先を調べ、親御さんから直接電話してもらったことした。
- ・合宿免許の教習所でボランティアをさせられているという葉書が来たが、新興宗教ではないかと不安だ。→過去にその教習所で免許合宿をした学生および紹介を行った団体から状況を聞き、情報を伝達。
- ・子供がスキー部の合宿で長野に行く聞いたが、大雪で大丈夫か？→スキー部幹部に連絡を取り、スキー部としての安全対策について本人から実家に状況を説明するよう連絡。
- ・紫峰会報に掲載されている学生イベントの詳細を知りたい。
- ・UTコレクションに追加して欲しい商品がある。
- ・学年暦カレンダーを送って欲しい。
- ・学生総合補償制度に加入したい。
- ・子供が怪我（前十字靭帯損傷）による手術を受ける予定であるが、お金を借りることはできるか。

会員など学生に関わりのある人々に情報を提供し、支援の輪の強化・拡大を図るため、会員または入会案内対象者（地域住民、企業等を含む）などへ紫峰会報や入会案内の発送をおこない、父母等会員の入会率の向上、団体賛助（協賛会員）・地域賛助会員・学内賛助会員の拡大を図った。

a 機関紙「紫峰会報」の編集・発行

「紫峰会報」を年間5回（4・7・9・12・2月）、合計約60,000部発行した。発送作業は、三系執行部の呼びかけにより、課外活動団体所属学生のボランティアによって行われた。

また、会報100号においては、特別号として表紙、裏表紙など計4ページをカラー化し、ページ数も16ページとした。

b 適切な案内・催促等による入会促進

①在学学生未入会者への案内

- ・入会案内、事業案内をデータ入稿して印刷業者に発注することによりコストダウンを図った。
- ・年初の入会者数が激減したため、対策として新たに岩崎学長による挨拶文を作成し、入会の呼びかけを行った。
- ・紫峰会報の作成にあわせ、未入会父母等へ入会催促を行った（下記の表を参照）。

「ご加入のお願い」送付時期と件数

送付時期	送付数	備考
4月(会報100号)	2,817	1年次(学群・大学院)
7月(会報101号)	5,136	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群) 4(医学6)年次(学群)
9月(会報102号)	4,997	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群) 4(医学6)年次(学群)
12月(会報103号)	4,885	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群) 4(医学6)年次(学群)
2月(会報104号)	969	1年次(学群)

- ・三系の代表者会議において、三系の代表から紫峰会についての説明を行ってもらおうと同時に加入の呼びかけを行った。

②平成19年度入学者に対して、以下のような取り組みを行った。

- ・入会案内を全面的にリニューアルした。新たに、岩崎学長の挨拶文を加えたり、学生への具体的な支援内容を書き添えるなどした。また、大学院生向けの入会案内を作成し、大学院生への入会促進を図った。
- ・また、事業案内も全面的にリニューアルした。
- ・紫峰会報に課外活動団体構成員数一覧を掲載した。
- ・大学での入学手続きが行われなかったため、学生宿舎の入居日に入会・相談窓口を設置。窓口対応の人数を増員した。また、窓口において、平成18年度学年暦カレンダー・クリアーファイルを手渡し、呼びかけを行った。

c 学内情報の問い合わせ先案内・照会

学生父母等から、電話・E-MAILによる問い合わせに対し、学内の問合せ先窓口の照会・案内等を行った。

- ・授業料の納付締切日や納付方法について聞きたい、窓口を教えて欲しい。
- ・奨学金の問い合わせ窓口を教えてほしい。
- ・大学、宿舎の住所を知りたい。
- ・入学式・卒業式の時間や駐車場について教えてほしい。
- ・学生宿舎についての問い合わせ窓口を教えて欲しい。
- ・子どもが病気になった様なので近くの病院(診療科)を教えて欲しい。
- ・アパートの紹介をして欲しい。
- ・紫峰会報105号のカルトについての記事を読んで、子供も同じような体験をしたことを思い出した。これからもこういった情報を提供して欲しい。

d 交流支援

茗溪・筑波グラウンドフェスティバル学生事務局に対して、ミーティング・作業スペースの提供など活動環境の支援を行なった。

III-5 サークル・サポート事業(天久保店)

(説明資料 P 30~33)

学生やOB等の集団的・組織的活動における関係作りの利便性を高め、その活動の発展・充実を促すため、学生の団体・組織、OB 団体などを主な対象として、天久保店でのプリントサービス、事務機器供用サービス、名簿関連サービスなどを行った。

a 団体向け情報加工サービス(情報・印刷関連機器・作業空間の供用)の実施

①印刷サービス

印刷機を設置し、サークル等のビラ作成や冊子作成の印刷サービスを行った。

印刷機利用料は実費程度である。(インク色は黒・青・赤・緑の4色)

製版代 80円/版

プリント代 1.5円/枚

用紙代 A3=1.9円/枚 B4=1.5円/枚 A4=1.2円/枚 B5=1円/枚

②コピーサービス

コピー機を設置し、サークル等のポスター作成のサービスを行った。

白黒コピー代 10円/枚

フルカラーコピー代 30円/枚

③その他

冊子(名簿や部内誌など)の原稿整理や印刷後の紙折、ホチキス留めなどの作業を行う場所を提供した。またFax送信サービス、ラミネートサービス、宛名ラベルや封筒の販売などを行った。

b 団体等のOB会事務サポート(名簿管理・機関紙等配送など)の実施

①吹奏楽団OB会の通知発送、名簿作成などの作業代行を行った。

②クロネコメール便(1通100円300gまで、10月以降は1通80円2cmまで)を利用して発送代行を行った。利用団体は以下の通り。

体育会OB・OG会、アイススケート部、サイクリング部、漕艇部、アメリカンフットボール部
硬式野球部、水泳部茗水会、体育会執行委員会、吹奏楽団、医学ヨット部等

③保険の集金代行システムを活用して、自動振り替えによる団体OB会費の徴収代行を行った。あわせて紫峰会の入会案内を送付した。利用団体は以下の通り。

- ・体育会執行委員会OB会(25件)
- ・医学スキー部OB会(51件)
- ・アメリカンフットボール部後援会(52件)

④筑波大メンターの会のイベント企画、運営、受付事務、会員名簿作成などの業務代行を行った。

c 機関紙配送を利用した協賛会員のDMチラシ折込サービスの実施

利用団体3件(紫峰会報100, 102, 104号同封)

d 入会対象者(未入会の父母等およびOBなど)のデータベースの構築

- ・入学者および父母等の台帳を作成し入力を行った。
- ・会報発送時の宛名ラベル出力を行った。

e 天久保店舗の運営

- ・主に前各号のサービスを提供するため、天久保店舗を運営した。
(営業時間は午前10時から午後7時、日曜日・祭日は休業)

III-6 グッズ&メディア

(説明資料 P 34~37)

大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通・高品質化を図り、大学への帰属満足度や連帯意識を高めるため、以下の事業を行った。

a UTcollection (UTcollection 企画・開発・販売→商品売上)

①新規のUTコレクション商品の企画

開発にあたっては、学生の開発チームである「UTClub」、UTコレクション企画室の協力を得ながら検討を重ねながら進めた。あわせてスタッフ側の体制を整理し、企画書様式一式・原価計算方式の再整備を行い、開発の適正化を図った。また、農林技術センターなどの学内組織との連携を図ると共に、地域のブルーベリー生産者や地元業者と連携したものづくりの方向性を模索した。

さらに、平成19年度からの学群・学類再編に合わせ、既存商品の仕様変更を実施し、新しい筑波大学のイメージづくりに寄与できるような商品を企画検討を行った。

○今年度新規に制作を行った商品は以下の通り

温湿度計、電波時計、筑波大学牛乳アイスクリームギフト、名刺入れ、つくりんストラップ、カレンダー2007年度版、学年暦手帳2007年度版

○仕様変更を行った商品は以下の通り

校章キーホルダー、桐飴フェイスカード、スクエアキーホルダー、革製ブックカバー、レポート用紙プレーン、フェイスタオル、スポーツタオル

②販売促進（販売実績は説明資料を参照）

販売においては、在庫管理を徹底し、販売機会を逸しないよう努めた。また、販路拡大に努め、学内外の2店舗で新たに販売を開始した。懸案であったデッドストック対策としては、アウトレットとしての割引や、二次加工によるリニューアル、販売促進備品購入などを行った。通信販売においては新たにお中元商品を開発し、追越店においてはクリスマスセールを実施するなど、消費者のニーズに応えた。また、「筑波大学新聞」や地域情報誌などからの取材に積極的に応じ、メディア5誌に情報を掲載した。

○通信販売

- ・紫峰会報にカタログ・郵便振替用紙を同封（8000部×5回、会員価格）
- ・茗溪会の協力により、季刊誌「茗溪」にカタログ・郵便振替用紙を同封（30000部、定価）
- ・紫峰会WEBサイト（会員価格・定価）

○学内受注

- ・紫峰会報配布時にカタログと注文用紙も配布し、教職員から校費により受注した（定価）。
- ・学生団体の各種イベント時に記念品などの相談を受け、受注した。

○当会店舗販売

- ・追越店舗、天久保店舗での対面販売（会員価格）
- ・追越店クリスマスセール（12/11-25）

○学内委託販売（卸・定価）

- ・厚生会書籍部（大学会館、学群書籍部）にて店頭販売を行った。
- ・入学式、大学説明会、卒業式に大学書籍部店頭にて販売促進活動を行った。
- ・大学附属病院売店にて店頭販売を行った。
- ・UTCLUBにより学園祭特設販売所を設置し販売を行った。

○学外委託販売（卸・定価）

- ・つくばエキスポセンター売店にて店頭販売を行った。
- ・つくば美術館売店「ミュージアムショップa」にて店頭販売を行った。

○学内特設販売（定価）

- ・入学式（4/7）、大学説明会（7/26-28）、卒業式（3/23）に大学会館前にて特設テント販売を行った。
- ・文教施設セミナー（10/5）にて特設販売を行なった。

○学外特設販売（定価）

- ・東西インカレ（8/18-20）、第3回つくば産業フェア（10/28-29）、台東区隅田公園梅祭り（2/17-18, 24-25）、第11回茗溪・筑波グランドフェスティバル（1/27）にブースを設置し販売を行った。

b UTservice (学生やOBの団体などのCIグッズ・媒体等を受託制作)

UTCollectionの制作ノウハウを活かして、クラブ・サークル・学類などからの受託制作を行った。

今年度作成した主なUTserviceは国際総合学類紹介誌、体育会「紫峰」30号、医学専門学群卒業試験問題集、スポーツデーメダル・ポスター等

c UTlife (就職活動や生活に役立つ情報などを協賛会員等から集め学生等に伝達)

昨年まで、学生との広いコミュニケーションを図るとともに、広告情報の掲載を通して紫峰会賛助会員企業を増やすことを目指して、UTlifeを発行していたが、平成18年度は休刊とした。

学生の学習・生活環境の利便性を高め、大学生活の安心・充実を図るため、追越店での、コピー・出力・製本・FAXなどのサービス、文具・雑貨(UTcollection等)販売、損害保険取次サービス(学生総合補償制度等)などを行った。

平成18年11月に追越共用棟食堂、売店が閉店した点、1学期から夏休みにかけて追越共用棟でのアスベスト除去工事があったため、利用者が激減した。そのため、利用者増を図る目的からコイン式のコピー料金を1枚当たり10円から8円に値下げし、12月にはUTコレクションの割引販売するセールを実施した。

a 学生向けのDTP関連サービスの実施

①コピーサービス

○プリペイドカード式(用紙共通)

700円/100枚(7円/枚)

2000円/300枚(6.66円/枚)

5000円/800枚(6.25円/枚)

○コイン式(用紙共通)

10円(10円/枚)、11月より~8円(8円/枚)

②DTP関連機器によるサービス

カラーレーザープリンタ・カラーイメージスキャナーにより、出力サービスを行った。

B4・A3は90円

A4・B5は50円

パソコン2台及びソフトウェアを提供し、端末利用サービスを行った。

③その他のサービス

Fax送受信サービス、ラミネートサービス、製本サービスを行った。

④作業空間の供用 コピー作業のための作業空間の提供を行った。

⑤関連商品の販売 コピー・DTPサービスに付随する商品の販売を行った。

b 大学公式ロゴ入り名刺制作・ハードカバー論文製本制作

本年度から追越店独自の事業として、筑波大学公式ロゴタイプ名刺の受付・制作を行った。利用件数はのべ354件で売上は1,054,695円であった。

また、本年度から新規事業としてハードカバー論文製本の受付・制作を開始した。ただ、試行段階の域を脱しておらず、利用件数は延べ2件で、売上は37,500円だった

c 追越店舗の運営

- ・主に前各号のサービスを提供するため、厚生会受託業者として追越店舗を運営した。(営業時間は午前10時30分から午後8時、土日祭日休業)
- ・パート職員またはII種職員が常駐し、店舗運営に当たった。
- ・立地条件から、医学専門学群・追越在住大学院生の利用が目立った。また、パソコンからのカラー出力サービスを行っているため、芸術専門学群の学生やサークル関係の利用者も確認できた。
- ・年間利用延べ人数は8,180人、年間売上は3,890,212円であった。

d 学生総合補償制度およびその他の損害保険の取次

- ・学生総合補償制度加入人数は912名で、保険料総額は20,594,300円であった。
- ・保険金支払いは80件程度で、クラブ活動中のけがによるものが多かった。(別紙資料参照)
- ・学園祭・宿舍祭などイベント時の保険の取次ぎを行った。
- ・学生総合補償制度の引受け代理店の協力を得て学生の自動車保険相談と取次ぎを行った。
- ・平成19年度入学者を対象としたパンフレットを作成、入会者へ郵送した。
- ・平成19年度宿舍入居日の入会窓口に、保険代理店の担当職員が参加、保険相談などを行った。

III-8 付随的収益事業

- ・特になし。